

2014 地域トレセン女子U-15・12 実施ガイドライン

1. 目的

日本女子サッカーの育成・強化の鍵は、ゴールデンエイジと呼ばれるU-12年代と、それに続くU-15年代にあります。U-12年代は、確かなテクニックの習得に最も適した時期であり、この年代でのテクニック習得は選手の将来を大きく広げる礎となります。ポストゴールデンエイジのU-15年代は、身体の成長とともに、習得しつつある技術をより強く・より速く発揮できるようコーディネートをやる時期にあたります。子供から徐々に大人へと移行する過程で、サッカー選手の成長に最も重要な意味をもっている年代です。

このようにU-12からU-15年代に焦点をあて、カテゴリー間の選手と指導者の交流と連携を推進することは、選手の一貫指導体制を構築するために必要不可欠です。そして日本サッカーが目指す「Japan's Way」を実現するために地域トレセンを整備し、将来の日本女子サッカーを背負って立てる才能ある選手を発掘、そしてより高いレベルのトレーニング環境を提供することによって、サッカー選手としての“個”の育成に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

あわせてこの事業では、地域や都道府県の熱意ある指導者にも「地域トレセン指導スタッフ」として参画いただき、日本サッカー協会の女子強化コンセプトを共有し、女子サッカー全体の底上げを図ることを目的としています。

2. 実施ガイドライン

地域トレセンは日本サッカー協会が主催するものではなく、地域サッカー協会に主導的に実施していただくものです。各地域の実状にあった方法や内容を、以下のガイドラインを目安に検討・決定し、実施してください。

地域トレセン女子 U-15・12 のカテゴリー間の交流と連携、育成環境の整備を目的として、このガイドラインに沿った活動に対し、「補助金」を支払います。

組織： 地域トレセン指導スタッフ(3. 参照)・ナショナルトレセンコーチ[女子担当]を中心に、技術委員会・女子委員会が指導・運営を行う。

活動単位： 選手の所属する加盟登録チームの所在地等を基準に地域を分ける。
9 地域の下に、より日常的できめ細かい活動を行えるよう 47 都道府県でのトレセン活動を行う。

期間・頻度： 地域トレセン 1泊2日～2泊3日 3～4回/1年間
[参考] 都道府県トレセン 半日～1泊2日 6～12回/1年間

会場： 各地域が決定・確保する。天然芝を使用できることが望ましい。
ピッチ半面に選手約20名/1グループを指導対象とする。
宿泊等を伴う場合、会場間の移動が負担とならないよう配慮する。

選手参加資格： 日本サッカー協会加盟登録選手(種別は問わない)
年齢 選手の年齢に応じた以下のカテゴリーで原則として実施する。
U-15 1999年1月1日～2001年12月31日 出生
U-12 2002年1月1日以降 出生
将来、U-20・U-17 ワールドカップに出場する日本女子代表選手を育成することを目的とし

ているため、生年でカテゴリーを区切るが、実状にあわせた学年単位での活動(例:U-15を中学1年生～中学3年生で活動)も認める。その際は1学年上の早生まれの選手情報把握に努めること。

選手参加人数: 地域トレセンの主旨、会場・施設の状況、対応スタッフ人数等から適正人数を判断し、各地域が決定する。

3. 地域トレセン指導スタッフ

地域女子トレセンで中心的に指導・運営にあたり、日本サッカー協会ナショナルトレセンコーチ[女子担当]と連携を取るためのパイプ役となるコーチングスタッフを「地域トレセン指導スタッフ」とします。

次の項目に留意して、各地域の女子委員会(・技術委員会)にて地域トレセン指導スタッフを選出してください。

- ①原則として、公認B級コーチ以上の資格を有する者
- ②地域トレセン女子U-15・12を主導的に指導しているか、今後指導していける者
- ③現在、地域・都道府県のトレセン活動に熱意を持って取り組んでいるか、今後取り組むことが期待される者
- ④年齢制限は設けないが、実際にピッチ上での指導を行っている者
- ⑤性別は問わない
- ⑥昨年度からの継続者を含むこと
- ⑦1名以上のGKコーチを含むこと

[GKコーチの役割について]

地域・都道府県トレセン等におけるGK専門指導のみならず、ナショナルトレセンコーチ[GK担当]や男子のスタッフと連携を取りながら、GK選手の発掘・育成、諸施策の企画・立案に責任を持って携わることができる方に従事していただきたくお願いします。

なお、各地域トレセンより1名のGKコーチに「女子:GKコーチ研修会」へ参加いただきます。

4. 地域女子トレセンスタッフ研修会

都道府県の女子トレセンに関わる指導者の発掘・レベルアップ、前述の「9 地域トレセン指導スタッフ研修会」を補完することを目的に、ナショナルトレセンコーチ[女子担当]主導の下、各地域の実状にあった方法や内容を検討・決定し、実施してください。

「地域トレセン女子U-15・12」とは別に「補助金」として各地域に支払います。各県より3名以上のトレセンスタッフが参加し、1泊2日のプログラムを実施する前提で算出していますので、これと同等もしくはこれ以上の規模・内容での実施をお願いします。

5. 補助金

	地域トレセン 女子 U-15・12	地域女子トレセン スタッフ研修会	計
北海道	900,000円	400,000円	1,300,000円
東北	900,000円	540,000円	1,440,000円
関東	900,000円	680,000円	1,580,000円
北信越	900,000円	470,000円	1,370,000円
東海	900,000円	400,000円	1,300,000円
関西	900,000円	540,000円	1,440,000円
中国	900,000円	470,000円	1,370,000円
四国	900,000円	400,000円	1,300,000円
九州	900,000円	750,000円	1,650,000円

補助金は、今年度の実施計画書・予算書・補助金対象計画書、昨年度の活動実績を確認し、各事業の開催1ヶ月前に各地域協会の口座に振り込みます。

なお、地域女子トレセンスタッフ研修会への補助金は今年が最終年度となります。

6. 申請・報告

①地域トレセン女子 U-15・12 ②地域女子トレセンスタッフ研修会 に関する以下の書類を提出してください。

なお、提出書類に記載されている個人情報、日本サッカー協会の「個人情報の保護に関する方針」(公式サイト参照)に則り、使用・管理します。

①地域トレセン女子 U-15・12 ※ 別添の「地域トレセン女子 U-15・12 経費ガイドライン」参照

【3月27日(木)までに提出】

1-1 実施計画書 1-2 予算書 1-3 補助金対象計画書(90万円分)

【各事業開催後原則1ヶ月以内】

- 2 実施報告書(開催要項・スケジュール・参加者名簿などの参考資料を添付)
- 3 収支報告書・支出明細・証拠書類(「補助金に関する経理処理の手順」参照)

※ すべての事業終了後1ヶ月以内

ただし、中間報告および年度末(12月)は別途提出日が設けられているため3月に財務部より展開される「補助金に関する経理処理の手順」を要確認

【3月末日まで】

4 決算書(年度の報告として)

②地域女子トレセンスタッフ研修会 ※別添の「地域女子トレセンスタッフ研修会経費ガイドライン」参照

【3月27日(木)までに提出】

5-1 実施計画書 5-2 予算書(事業全体)

【事業開催後1ヶ月以内】

- 6 実施報告書(開催要項・スケジュール・参加者名簿などの参考資料を添付)
- 7 収支報告書・支出明細・証拠書類(「補助金に関する経理処理の手順」参照)

7. ナショナルトレセン女子 U-15

下記概要のとおり、開催します。

期間： 12月12日(金)～15日(月) 3泊4日

場所： 東日本 鹿島ハイツ スポーツセンター（茨城県鹿嶋市）

西日本 J-GREEN 堺（大阪府堺市）

経費： 派遣に要する費用(旅費・宿泊費)は日本サッカー協会が全額負担するが、
参加費として選手1人より10,000円を徴収する。

8. 提出先・お問合せ先

公益財団法人日本サッカー協会 技術部

則松（北海道・東北・関東） knorima@jfa.or.jp

貫井（北信越・東海・関西） namie.nukui@jfa.or.jp

水野（中国・四国・九州） masayuki.mizuno@jfa.or.jp

Tel: 03-3830-1810 Fax: 03-3830-1814

※提出書類は各地域担当に送付をお願いいたします。